

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	災害時における医療提供体制の確保		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室、歯科保健課		室長:佐久間 敦	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・平成22年5月24日厚生労働省発医政0524第5号「医療施設運営費等補助金、中毒情報基盤整備事業費補助金及び第三者病院機能評価支援事業費補助金の国庫補助について」 ・平成22年3月24日医政発0324第16号「災害医療対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地震等大規模災害発生時に、一人でも多くの命を救うため急性期(発災後48時間以内)に活動できるトレーニングを受けた災害派遣医療チーム(DMAT)養成研修や実動訓練、また、被害状況等を迅速かつ的確に把握するための調査、情報提供等を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	DMAT養成研修では災害時に限られた医療物資や場所・時間、また人的制約を受けるなど、非常に厳しい環境を想定した医療活動や、トリアージや航空機内での医療提供など特殊かつ専門的な知識を受講者に習得させるとともに、災害時を想定した実動訓練、ヘリコプターでの情報収集、広域災害に対応できる効果的な広域情報ネットワークの構築を行い、災害時の医療体制の確保を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	121	110	147	154	195
		補正予算		6		6,290	
		繰越し等					
	計	121	116	147	6,444	195	
	執行額	112	101	163			
執行率(%)	92.6%	87.1%	110.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	災害派遣医療チーム(DMAT)数	成果実績	チーム	596	703	846	1,000
		達成度	%	59.6	70.3	84.6	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	災害派遣医療チーム(DMAT)養成数	活動実績(当初見込み)	チーム	154	107	143	-
						()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	人件費	74	102	DMAT事務局の人員体制強化 EMISの機能強化			
	旅費	24	25				
	使用料及び賃借料	46	57				
	その他	10	11				
	計	154	195				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	東日本大震災を踏まえ、災害発生時に効果的な活動ができるように研修内容の充実を図る必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	近年の状況を踏まえ、本事業の必要性は非常に高く、執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。		
引き続き予算の効率的な執行に努めてまいりたい。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

厚生労働省
163百万円

【災害時における体制整備に関する補助】

A 【企画競争】

独立行政法人国立病院機構
災害医療センター
33百万円
(災害派遣医療チーム(DMAT)研修事業)

災害派遣医療チーム(DMAT)として、災害時に限られた医療物資や場所・時間、また人的制約を受けるなど、非常に厳しい環境を想定した医療活動や、トリアージや航空機内での医療提供など特殊かつ専門的な知識を受講者に習得させるため

B 【企画競争】

兵庫県災害医療センター
33百万円
(災害派遣医療チーム(DMAT)研修事業)

災害派遣医療チーム(DMAT)として、災害時に限られた医療物資や場所・時間、また人的制約を受けるなど、非常に厳しい環境を想定した医療活動や、トリアージや航空機内での医療提供など特殊かつ専門的な知識を受

C 【企画競争】

株式会社エヌ・ティ・ティデータ
ヘルスケアシステム事業本部
36百万円
(広域災害・救急医療情報シス

災害時における全国ネットの災害医療に係る総合的な情報を共有し、被災地域での迅速かつ適切な医療・救護に関わる各種情報の集約・提供を行うためのシステム経費。

D 【企画競争】

財団法人日本中毒情報センター
6百万円
(NBC災害・テロ対策研修事業)

NBC(核、生物、科学)災害及びテロに対し、適切な対応ができる医師等を養成するため、NBC災害・テロに関する専門知識、技術及び危機管理能力を習得するための研修を開催する。

E 【補助】

独立行政法人国立病院機構災害医療センター
47百万円
(災害医療調査ヘリコプター運営事業等)

災害時における全国ネットの災害医療に係る総合的な情報を共有し、被災地域での迅速かつ適切な医療・救護に関わる各種情報の集約・提供を行うためのシステム経費。

F 【補助】

道府県(14)
8百万円
北海道 3百万円
(災害拠点病院等活动費等)

◎災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助
◎災害時に出動したDMATの活動に要する経費の補助

定額

G 【補助】

北海道医療機関(8)
3百万円
市立室蘭総合病院
0.4百万円

【総合防災訓練へ参加し、災害時のDMAT活動を円滑に遂行出来るよう訓練する。】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A.独立行政法人国立病院機構災害医療センター			E.独立行政法人国立病院機構災害医療センター		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る謝金、賃金	16	使用料及び賃借料	ヘリコプターチャーター費	33
	旅費	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る旅費	10	旅費	委員等旅費	5
	使用料及び賃借料	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る大型バス、レンタカー等の賃借代	4	人件費	DMAT事務局員賃金等	5
	その他	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る隊員登録証、マニュアル、資料等の印刷代等	3	需用費	消耗品費、印刷製本費	3
				その他	会議費等	1
	計		33	計		47
	B.兵庫県災害医療センター			F.北海道		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る謝金、賃金	12	補助金	国主催の総合防災訓練への参加旅費等への補助	3
	印刷製本費	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る隊員登録証、マニュアル、資料等の印刷代	9			
	旅費	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る旅費	8			
	使用料及び賃借料	災害派遣医療チーム(DMAT)研修に係る大型バス、レンタカー等の賃借代	4			
	計		33	計		3
	C.株式会社エヌ・ティ・ティデータヘルスケアシステム事業本部			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	使用料及び賃借料	広域災害・救急医療情報システム使用料	16			
	計		16	計		0
	D.財団法人日本中毒情報センター			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	旅費	講師等旅費	3			
	その他	通信運搬費、消耗品費、会議費等	2			
	人件費	NBC災・テロ対策研修事業に係る講師謝金等	1			
	計		6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立病院機構	災害派遣医療チーム(DMAT)研修事業	33		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兵庫県災害医療センター	災害派遣医療チーム(DMAT)研修事業	33		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	広域災害・救急医療情報システム管理	16		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本中毒情報センター	NBC災害・テロ対策研修事業	6		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立病院機構	災害医療調査ヘリコプター運営	47		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	3		
2	兵庫県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	1		
3	鳥取県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	1		
4	群馬県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	1		
5	徳島県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	1		
6	愛媛県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	0.1		
7	新潟県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	0.1		
8	千葉県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	0.1		
9	宮城県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	0.1		
10	広島県	災害派遣医療チーム(DMAT)が国主催の総合防災訓練に参加するために要する経費の補助等	0.1		

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	市立室蘭総合病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.4		
2	市立函館病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.4		
3	札幌医科大学病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.4		
4	旭川医科大学病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.4		
5	日鋼記念病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.4		
6	手稲溪仁会病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.3		
7	王子総合病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.3		
8	砂川市立病院	国主催の総合防災訓練に参加	0.2		

